

令和6年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」  
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	非化石化を推進する省エネアスファルトプラント(液体化石燃料×非化石燃料)
製品種別	エネルギー負荷設備(本体設備)
型番	TAP-○○■■S+TRD-△△DS-◇◇+ST-×××+▼▼S (○○はVドライヤ、■はミキサ、△はRドライヤの能力、×××と▼▼にはサイロ容量を示す数値、◇◇はRドライヤの設置方式を示す)
会社名	田中铁工株式会社
本社所在地	佐賀県三養基郡基山町小倉629番地7
会社WEBページURL	<a href="https://www.tanaka-iron-works.com/">https://www.tanaka-iron-works.com/</a>
製品紹介ページURL	<a href="https://www.tanaka-iron-works.com/product/">https://www.tanaka-iron-works.com/product/</a>

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	田中铁工株式会社 GX推進室 神谷 代表TEL: 0942-92-3121 Email: i-kamiya@tanaka-iron-works.com
-----	---

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	D. 建設業	E. 製造業	
導入対象となる分野・プロセス	アスファルト合材の製造		
導入事例の省エネ量(原油換算:k1)	19.3		k1/年
工場・事業場当たりの想定省エネ率	3.9		%
設備・システム当たりの想定省エネ率	—		%
導入事例における費用対効果(年間)	0.4		k1/千万円
1台又は1式当たりの想定導入価格(参考)	500,000,000		円
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	7,500,000		円/年

製品・システムの概要

アスファルト合材工場におけるエネルギー消費の約90%を占めるアスファルトプラントにおいて特にエネルギーの消費が大きい骨材の乾燥・加熱に関わるプロセスに最新の技術(フォームドアスファルト装置)と装置(高効率ドライヤシステム)と制御(スーパーマルチ排ガス制御)を用い省エネ化を進め、化石燃料と非化石燃料の混焼を行うことで、工場全体の省エネ率+非化石割合増加率=35%以上を実現し、アスファルト合材製造におけるカーボンニュートラルに大きく貢献する。

導入形態:

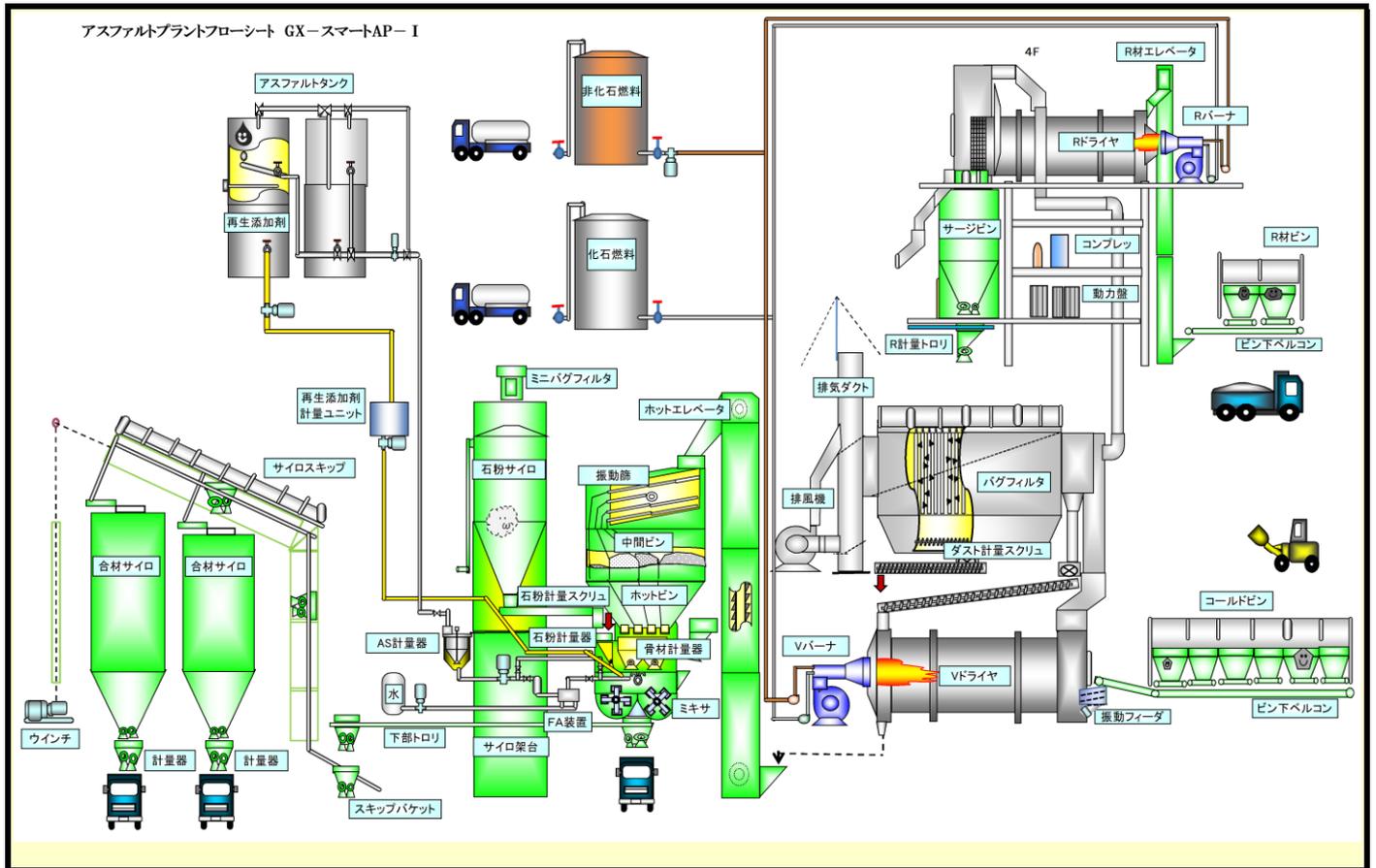
既存の設備・プロセスの一部、あるいは設備全体の更新により省エネ化を図る

先進性についての説明

アスファルト合材製造で最も大きなエネルギーを消費する骨材の乾燥・加熱に関わるプロセスで省エネ化を図り、混焼システムにより非化石燃料への大幅な転換を行う。

- ①アスファルト合材温度を低減する「フォームドアスファルト装置」
- ②ドライヤ効率を常に最適な状態に保つ「スーパーマルチ排ガス制御」
- ③骨材加熱のプロセスを改善した「高効率ドライヤシステム」
- ④非化石燃料へ大幅な燃料転換を行う「非化石燃料混焼システム」

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	アスファルト合材工場	対象設備・プロセス	アスファルト合材の製造
-------	------------	-----------	-------------

# GX Smart AP



アスファルトプラント前景



アスファルトプラント後景



フォームド装置  
低炭素アスファルト合材生産可能



アスファルト(発泡前) → フォームドアスファルト



非化石燃料(廃食油)バーナ  
化石燃料から非化石燃料への転換



非化石燃料(廃食油)タンク